

印
紙



船 荷 證 券

第 51 號

國籍		船長	船積港	陸揚港	接續地	到着地		
TEIRITU MARU 九第4次		I. KAWASAKI		SAIGON.				
荷送人	DAI TOA SYO.		殿	荷受人	ORDER/-			殿
荷印番號	荷 品 名	個 數	價 領	重量又ハ容積	運賃率	前 拂 運 貨	向 拂 運 貨	立替金附帶費
A/D	PRINTED MATTER.	1 BALE.	Y 30.00	2 SAI.	N/M	Y 13.50		
合 計								
摘要	NOTIFY:-MESSRS. EMBASSY OF NIPPON, AT HANOI.							
上記荷物本證券裏面ノ約款ヲ以テ運送ヲ引受ケ船積致候ニ付陸揚港(通シ運送ノ場合ハ到着地)ニ於テ本證券ト引換ニ荷受人又ハ本證券持參人ニ御引渡可申候也								
昭和 19 年 2 月 日								
Kobe = 於テ本證券 THREE 通ヲ發行ス								

(注意) 本證券二通以上發行シタル場合ハ最初ニ本證券ヲ提出シタル者ニ荷物ノ引渡ヲ爲スヘシ此場合他ノ證券ハ無効トス

船舶運營會 制定
社團法人日本海運集會所發行

三興海運株式會社

通送約款

第一條 船舶運送會（以下單二運送會稱）ハ本體券面記載、運送品ノ開シ種類、内容、中品狀態、品質、数量、重量、容積、荷印、關頭印、番號及貨額、付其質、任セズ。
第二條 運送會ハ左ニ掲タル事由ニ因り生シタル運送品ノ滅失、毀損、延滞其他ノ損害、害、付其實ニ任セズ。
一、天災其他ノ不可抗力、火災、海難、盗難、其他一切ノ海上事故又ハ候後其他法、命令規則等ノ執行。
二、戰争、變動、事變其他ニ準スヘキ事由。
三、軍文ハ官ノ命令若ノ要求ニヨリ軍需品ノ積載。
四、精神性、危險、易燃、易爆、臭氣、風通ノ不完全、過火又ハ他物トノ接觸、ノ爲、用火スル者過失又ハ過失。
五、運送品ノ性質又ハ報紙。
六、荷造不完全、包装ノ破損、荷印、荷札ノ不備其他研透人過失怠慢。
七、蟲害、鼠害、污損、熱氣、溫氣、臭氣、風通ノ不完全、過火又ハ他物トノ接觸、ノ爲、生息シヤウ事由。
八、上甲板積ニ因ル一切ノ事故（但特約アル場合ヲ除ク）。
九、荷役中ノ降臨完天又ハ波浪。

十、通常常規、附スル事ヲ得ヘキ危険。

第三條 航行後、變動後又ハ特殊ノシタル場合、外候後船積前又ハ
荷役後、於ケンシタル運送品ノ荷役、荷送人並ニ荷主ノ負擔トシ運送會、責任
ハ常ニ輸送船側ニ于テ開始又ハ終了ス。
運送品積前又ハ荷役後ニ於ケル善惡、荷役、受領、其他ノ取扱、付手、ハ當該取
扱人所定の運送品ノ依ム但右船員人、本運送契約書、用印スル運送品名ノ同一
ナリモノニ付亦同シ。

第四條 連絡運送品ノ荷役、品名及び運送料ノ明告シニ且本證券面ニ記載シタル價額又ハ其別
證券面ニ記載シタルハ非サレハ運送會ハ一箇ニ付金五圓論又ハ其割合トシ運送スル價
額シ前項運送品ヲ口記シタル運送品ハ其半額納フ以テ各一箇と最高價額トシ看
度ニ付運送價ノ貢ニ任セズ。

一箇以上價額ナロハ荷役記セル二箇以上ノ運送品ニシテ荷印、荷送品名ノ同一
ナリモノニ付亦同シ。

第五條 運送會ノ規定ハ運送以外ノ單位ヲ以テ運送シタル運送品ノ荷役者賠償ニ付スル作用ス
ル運送會、如何ナリ場合ニ付スル明告シニ且本證券面ニ記載シタル價額又ハ其別
合ヲ超過ス。損害賠償ニ付運送價ノ貢ニ任セズ。

第六條 航運船ノ生命、財產若ハ船員ノ救助、駕駛、必要品ノ積込、荷卸、荷便、
積卸等ノ爲メ、軍文又ハ官ノ命令其地ニムツ被サル事由アリトキ若ハ運送會又ハ船員
ヲ更に支給シテ航運船ノ救助、荷卸、荷送人又ハ荷主ノ負擔トス
第八條 乗組員ハ萬般會ハ不能、危險又ハ不利トシテハ解僕、危險又ハ不適切、危險ト
テ變更シテハ被指名途中ニ於君若ハ輸送船ノ復航其他便宜トシ時、前後ニ荷リテ本體運送契約ヲ解僕シ、航路
輪船、船底、機器、機械其他ノ爲運送品運載ノ便若ハ之ヲ一時揚海ノ上廻事又時宜
ニ依リ免却ヲ爲シ若ハ免却セラルコトアルヘン尙海水先生ヲ使用スルト否トハ船長
ノ任持トス。

運送會ハ前ノ項ノ場合因リテ生シタル運送品ノ滅失、毀損、延滞其他ノ損害二付
償ノ責メ任セズ。

第七條 第二條第1款乃至第四條前條ニ揚タル事由又ハ其度アリニ因リ航運費、
メタルトキハ萬般會ハ不能、危險又ハ不利トシテハ解僕、危險又ハ不適切、危險ト
テ變更シテハ被指名途中ニ於君若ハ輸送船ノ復航其他便宜トシ時、前後ニ荷リテ本體運送契約ヲ解僕シ、航路
輪船、船底、機器、機械其他ノ爲運送品運載ノ便若ハ之ヲ一時揚海ノ上廻事又時宜
ニ依リ免却ヲ爲シ若ハ免却セラルコトアルヘン尙海水先生ヲ使用スルト否トハ船長
ノ任持トス。

運送會人、乗組員ハ荷主ヲノ、荷主ヲノ危急者
及ホスニ至リタル場合ニハ其度アリト認メタル場合ハ第一項ニ準シ運送會ハ運送
ノ處分スルコトアルヘン。

第十條 航運會ハ運送品ノ本體券面記載以外ノ船積、關頭印、荷印、荷主ノ危急者
アルヘニシテ候後船、船積シタル運送品ノ荷送人、荷役人又ハ荷主ノ危急者ニ於テ一時
解取又ハ船揚シタル上地船積又ハ運送機器ニ候後運送品付手前項ノ規定ヲ適用ス
替ニ爲メ、荷主ヲノ危急者。

第九條 航運會は運送品ノ正正確ナル運送品ト無事航行、荷卸、財產又ハ人命ノ危急者
シ且運送會ニテ明告シテ積載スルニ非レハ前條ノ規定ニ準シ之ヲ處分スル

第十一条 航運會ハ此限ニ在ラズ。

コトアルヘニ
第十條 航運會ハ運送品ノ本體券面記載以外ノ船積、關頭印、荷印、荷主ノ危急者
アルヘニシテ候後船、船積シタル運送品ノ荷送人、荷役人又ハ荷主ノ危急者ニ於テ一時
解取又ハ船揚シタル上地船積又ハ運送機器ニ候後運送品付手前項ノ規定ヲ適用ス
替ニ爲メ、荷主ヲノ危急者。

第十條 航運會ハ運送品ノ本體券面記載以外ノ船積、關頭印、荷印、荷主ノ危急者
アルヘニシテ候後船、船積シタル運送品ノ荷送人、荷役人又ハ荷主ノ危急者ニ於テ一時
解取又ハ船揚シタル上地船積又ハ運送機器ニ候後運送品付手前項ノ規定ヲ適用ス
替ニ爲メ、荷主ヲノ危急者。

第十條 航運會ハ運送品ノ本體券面記載以外ノ船積、關頭印、荷印、荷主ノ危急者
アルヘニシテ候後船、船積シタル運送品ノ荷送人、荷役人又ハ荷主ノ危急者ニ於テ一時
解取又ハ船揚シタル上地船積又ハ運送機器ニ候後運送品付手前項ノ規定ヲ適用ス
替ニ爲メ、荷主ヲノ危急者。

表記ノ荷物正ニ受取候也

昭和年月

荷物受取

印
紙



船荷證券

第 51 號

國籍	船長		船積港		陸揚港	接續地	到着地	
"TSIRITU MARU" 丸第4次	I. KAWABAKI				SAIGON.			
荷送人	DAI TOA SYO.		殿	荷受人	ORDER/-			殿
荷印番號	荷 寄 品 名	個 數	價 額	重量又ハ容積	運賃率	前拂運賃	向拂運賃	立替金附帶費
A/D	PRINTED MATTER.	1 BALE.	Y 35.00	2 BAI.	N/M	Y 13.50		
-----SAY ONE (1) BALE ONLY-----								
合計								
摘要	NOTIFY:-MESSRS. EMBASSY OF NIPPON, AT HANOI.							
上記荷物本證券裏面ノ約款ヲ以テ運送ヲ引受ケ船積致候ニ付陸揚港(通シ運送ノ場合ハ到着地)ニ於テ本證券ト引換ニ荷受人又ハ本證券持參人ニ御引渡可申候也								
昭和 19 年 2 月 日								
Kobe = 於テ本證券 THREE 通ヲ發行ス								

(注意) 本證券二通以上發行シタル場合ハ最初ニ本證券ヲ提出シタル者ニ荷物ノ引渡ヲ爲スヘシ此場合他ノ證券ハ無効トス

船舶運營會制定
社團法人日本海運集會所發行

三興海運株式會社

運送約款

連 約 款

任セス
第十二條 本證券面積載ノ運送品ノ内容、重量、容積、價格、荷印、番號、箇數其他
ノ事項一付荷送人ノ申告書事實ト異リ又ハ不完全ナリシニ因リテ生シシタル費用又ハ

第三十一条 運賃ハ移動アル場合ヲ除ク外給付ノ時當ニ於ケル運送品ノ重量、箇數、容積又ハ價額ニ依リテ之定ム、但運賃會ニ於テ必要アリト認メタルトキハ引渡フ際
相全其他一切ノ損害ハ荷送人、荷受人並ニ荷主ニ於テ賠償レバシ。任スヘキモノトス。

理賃會ハ第五條 第八條第一項及第四項並前條ノ場合別ニ當該運送品ニ對スル相
當運賃ノ倍額ニ請求スベシ
第十四條 理賃會ハ通常速達ニ付テハ遠送運輸契約ニ據ル場合及特約アル場合フ除キ

通運運送に於ける接続方法及運送方法ハ連絡運輸契約ニ據る場合及本證券ニ特ニ定メアル場合ノ外運營會之ヲ選定ス又其特ニ定メアル場合ト雖モ時宜ニ依リ之ヲ變更スルコトアルヘシ

運賃會所屬セサル船舶、鉄舟、鐵道其他、機輪ニ依接続、運送保管、荷渡等ノ取扱ハ總て既定條件ニ依ル但當該機輪ニ本運送約款ヲ採用スルコトヲ得
接續地ニ於ケル運送品ノ揚陸及保管ハ水上、陸上何レニ於テアヘモ運賃會所任

不可抗力又ハ船持其他已ムツ得サル事由ニ因リ生シタル貪欲料、滞船料等ノ費用ハ
荷送人、荷受人並ニ荷主ノ負擔トス
、五條 諸船賃領渡ノ約定ヲ爲ササル運送品又ハ其約定期爲シタルモノト建モ尙

受人ニ於テ運送ナク引取ヲ爲サナル運送品ニ關シテハ其揚荷、保管、荷扱、引渡ヘ
運賃専任者ノ時及場所ニ於テ之ヲ爲スベシ但連絡運輸契約又ハ特約ヲ爲シタル場合
ハ其定ムル所ニ依ル

輸品入付着一付通知ノ旨セヌニ任セズ
第十八條 運送品ノ輸移出入一付必要ナル時開封其他ニ對スル手續要ニ關係書類等ハ荷
送人、荷受人又ハ荷主ニ於運送ナク之ノ履行各備スルコトヲ要ス

荷送人、荷受け人並に荷主へ前項手帳又へ書類準備ノ連絡、不完全等ニ因リ生シタル一切ノ手帳又ヘ付する事無ニ付ス。運送人又ハ荷主ニ代リ第一項ノ手帳ヲ履行シ若ハ期日ア作成シ又ハ運送人ヨリ送付ノ旨共コトアヘルシニヨリア生シタル運賃會ハ必要ト認メバ損傷等ニ付ス。荷受け人又ハ荷主ニ代リ第一項ノ手帳ヲ履行シ若ハ期日ア作成シ又ハ運送人ヨリ送付ノ旨共コトアヘルシニヨリア生シタル

ス 一切ノ費用及損害ハ荷送人、荷受人並ニ荷主ノ負擔トス
除疫其他法令規則等ノ執行ニ因リテ生ズル費用ハ荷送人、荷受人並ニ荷主ノ負擔ト

第十九條 運營會ハ必娶ト認メタルキトハ便宜運送品ノ荷造ヲ補修シ又ハ改裝スルコトアルヘシ此等貨物ニ因リテ生タシタル一切ノ費用ハ荷送人、荷受人半ハ荷主ノ負担トス
第二十條 貨物ハ運賃、費用、料金並ウハ陸陸運輸人、共同海運分擔者、被劫料等、
他委託人、販賣人又ハ附帶人负责ハ、ヒト金銀ノ如キヲ悉ケル事ナリハ甚多也ノ其

波ヲ爲ササルセノトス
薪受人カ前項金額ヲ支拂ハサルトキハ運賃費ハ之ヲ勘定人又ハ荷主ニ請求シ若ヘ運
送品ヲ任意賣却シ其手取金ノ右ノ金額ニ充當スヘシ此場合尚不足額アルトキハ荷主

人、皆受人並ニ皆王之ヲ危険スベシ
前二項一定ニタル運營會権利ハ運送品ヲ他ノ運送機器ニ引渡シタル場合ト雖モ少
テ大ハス

ハ指ミタルト半ハ運賃會ハ荷送人、荷受人並ニ荷主ニ危險及費用ハ於テ之ヲ任意シ
場所ニ保管シ又ハ供託スルコトアルヘシ
運送品、性質取扱等ニ依リ必要ト認メタルトキ又ハ掲荷後三十日ヲ経過ズルモ申引

取ナキトキハ運營會ハ之ヲ任意賛却又ハ積累其他適宜處分スルコトアルヘシ此場合
一切ノ危險及費用ハ荷送人、荷受人室ニ荷主ヲ負擔トス
運送品ノ實却勘分シタルトキハ其手取金ヲ以テ前條ノ金額ニ充當シ尚不足額アルト
レハ追加、貰取シ

第二十二條 運送品ノ關税・賠償金・請求ハ運送品引渡ノ時又其引渡アルヘカリ
之時ニ於テ荷役地ニ於ケル運送會若ハ其代理人又ハ連絡運輸機関ニ文書ヲ以テ其留
保ヲ爲シナル上更二日以内ニ文書ニ依ル賠償ノ請求ヲ爲スニ非サレハ之應セサ

ルコトアルベシ
第二十三條 我同海損ハ千九百二十四年「ヨーテアントワード」提則ニ據ル
第二十四條 本證券ニ三港以上ノ任意點証准ヲ記載シタル場合陸揚港ニ指定ハ船主船

第二十五條 本連繫契約ハ大日本帝國ノ法律ニ付セシム且之ニ同體ニタルモノトス
第一十六條 荷送人、荷受人及尙主ハ本連繫契約ヲ承認シ且之ニ同意シタルモノトス
之ヲ通知ス。非サレハ右記連繫ノ申題を任仕タルモノトス
之ヲ荷送スヘシ

表記ノ荷物正ニ受取候也

昭和
年
月

荷物受取人



船 荷 證 券

第五號

上記荷物本證券裏面ノ約款ヲ以テ運送ヲ引受ケ船積致候ニ付陸揚港(通シ運送ノ場合ハ到着地)ニ於テ本證券ト引換ニ荷受人又ハ本證券持參人ニ御引渡可申候也

昭和 19 年 2 月 日

船 舶 運 營 會

ス发行ヲ通フ日本證券テ於ニ

(注意) 本證券ニ通じて發行シタル場合ハ最初ニ本證券ヲ提出シタル者ニ荷物ノ引渡ヲ爲スヘシ此場合他ノ證券ハ無効トス。

船舶運營會制定
社團法人日本海運集會所發行

三興海運株式會社

連送約款

運營會ハ開場ノ場合因リテ生シタル運送品ノ要覧、減價其他ノ措置・付賃便ノ貿易
第十二条 本證券商記載ノ運送品ノ内容、重量、容積、價格、荷印、番號、函號其他
ノ事項ニ付荷送人ノ申込事項ト異リ又ハ不完全ナリシニ因リテ生シタル費用又ハ
酒全其他の一切ノ損害ハ荷送人、荷受人並ニ荷主一於手賃費ノ支取、任メキモノス
第十三条 運營會ハ運送品ノ料金ハ荷送人、荷受人並ニ荷主一於ゲル運送品、重積、箇数、容
秋又ハ價額ヲ依リテ之ヲ定メ、但運營會ノ於必要アリト認ムタルモハ引渡スルア
更ニ重量、箇数又ハ容積ヲ若ハ評價ヲ爲シニ依リテ運賃ヲ追加スルコトアル
ヘシ

前項契約書ハ運送品ノ滅失、毀損、破損又ハ運送ノ中止其他如何ナル場合ニ於テ
モ全額ヲ受取ルノトス

運營會ハ第五條、第八條第一項及第四項並ニ後條ノ場合別ニ當該運送品ニ對スル相
當運賃、危險、清潔水メヘシ

第十四条 運營會ハ運送品ノ滅失、毀損又ハ運送ノ中止其他如何ナル場合ニ於テ
通シ運送ニ於ケル接觸、接觸方法及運送方法ハ運送運輸契約ニ據ル場合ニ本證券
ヨ特ニ定メタス、場合ノ外運送品ヲ運送又其特ニ定メアル場合ト雖モ時宜ニ依リ
ツラ更スルヌトス

運營會ニ所屬サル船頭、舟井、鐵道其他ノ機関ニ依接觸、運送保管、荷渡等ノ
取扱ハ總て其所定條件ニ依ム但當該運賃ハ本運送契約ヲ適用スルコトヲ得
接觸地ニ于ケル運送品ノ揚陸及保管等ハ水上、陸上何レニ於テ之ヲスニ張營會ノ任
意トス

不可抗力又ハ船持其他ニシテ得サル事由ニ因リ生シタル貪欲料、滑船料等ノ費用ハ
荷送人、荷受人並ニ荷主ノ負擔トス

「五様」餘益船頭既成ノ約定ヲ爲サル運送品又ハ其約定ヲ爲シタルモノトス

運送會ノ運送品到着通知先、申告ヲ交シタルト否ニ拘ラス輸送船又ハ運
送人等に於テ運送ノ時及場所ニ於テ之ヲ爲スハシニ任セス

第十五条 「五様」餘益船頭既成ノ約定ヲ爲サル運送ナク之ヲ屢々行施備スルコトヲ葉ス
ハ其定ムル所ニ依ム

第十六条 東京横濱、大阪神戸、名古屋四日市其他之類マル近接港ニ仕向ケラレント
船ハ御送人、荷受人又ハ荷主ニ依リ其レカノ運送ナク之ヲ屢々行施備ノ運送、不定等ニ因リ生シタル
一切ノ費用、簡便ノ依寄ニ付其美、任スヘシ

運送會ハ運送品到着通知先、申告ヲ交シタルト否ニ拘ラス輸送船又ハ運
送人、荷受人又ハ荷主ニ依リ其レカノ運送ナク之ヲ屢々行施備スルコトヲ葉ス
ハ其定ムル所ニ依ム

第十七条 運營會ハ運送品到着通知先、申告ヲ交シタルト否ニ拘ラス輸送船又ハ運
送人等に於テ運送ノ時及場所ニ於テ之ヲ爲スハシニ任セス

第十八条 「五様」餘益船頭既成ノ約定ヲ爲サル運送ナク之ヲ屢々行施備スルコトヲ葉ス
ハ其定ムル所ニ依ム

第十九条 運營會ハ必要ト認メタルトキハ便宜運送品ノ荷造ヲ補修シ又ハ改裝スルコ
トアルヘシ此場合因リテ生シタル一切ノ費用ハ荷送人、荷受人又ハ荷主ノ負擔トス

第二十条 運送品ハ運送人又ハ荷主ノ金額、立替金、雜料費、共同賃舟分擔金、救助料等其
他荷送人、荷受人並ニ荷主ノ負擔スベキ金額ノ支拂タクルヨリ非サレハ運送品ノ
運送人ハ其負担ノモトス

荷受人より前小金額ヲ支拂ハサルトキハ運營會之ヲ荷送人又ハ荷主ニ請求シ若ハ運
送品立替金を以シ其手取金ノ右ノ金額充當スベシ此場合尚不足額アリトキハ荷送
人、荷受人並ニ荷主ノ負擔スベシ

前項ニ定ムタル運營會ノ権利ハ運送品ヲ他ノ運送機關ニ引渡シタル場合ト雖モ之
ヲ失ハズ

第二十一条 荷送人ヲ殊種スル運送人又ハ荷送人カ運送品ノ取引タリ若
ハ拒ミタルトキハ荷送人、荷受人並ニ荷主ノ危険及費用の於テ之ヲ任シ
場所ニ保管者ハ併託スルコトアルヘシ

運送品ノ性質或然狀況ニ依リ必要ト認メタルトキ又ハ揚荷後三十日ヲ過越スルモ専引
取ナキトモ運送會之ヲ任意賣却又ハ積送其他運送品分割スルコトアルヘシ此場合
一切ノ運送費及保管費ハ荷送人、荷受人並ニ荷主ノ負擔トス

運送品荷造分シタルトキハ其手取金ノ以て前條ノ金額ニ充當シ尙不足額アルト
キハ荷送人、荷受人並ニ荷主之ヲ負擔スベシ

第二十二条 運送品ニ於ケル積荷償價ノ請求ハ運送品引渡ノ時又ハ其引渡アルヘカラ
シ時ニ於テ荷送品ノ於ケル運送會若其代理者又ハ終結運送機關ハ運送品ヲ以チ其留
保ヲ爲シタル上更ニ三十日以内ニ右記範圍内港中運營會に任意ノ港ニ於テ荷送スベシ

第二十五条 荷送人、荷受人又ハ荷主ハ本運送契約ハ大日本帝國法又は據スルモノトス

第二十六條 荷送人、荷受人又ハ荷主ハ本運送契約ヲ承認シ且之ニ同意シタルモノトス

表記ノ荷物正ニ受取候也

印紙



船 荷 證 券

第 號

上記荷物本證券裏面ノ約款ヲ以テ運送ヲ引受ケ船積致候ニ付陸揚港(通シ運送ノ場合ハ到着地)ニ於テ本證券ト引換ニ荷受人又ハ本證券持參人ニ御引渡可申候也

昭和 19 年 2 月 日

KOBE = 於テ本證券 THREE 通ヲ發行ス

船 舶 運 營 會

Office Copy

三興海運株式會社

(注意) 本證券ニ通以上發行シタル場合ハ最初ニ本證券ヲ提出シタル者ニ荷物ノ引渡ヲ爲スヘシ此場合他ノ證券ハ無効トス

船舶運營會制定
日本海運集會所發行

運送約款

第一條 船舶運營會（以下單ニ運營會ト稱）ハ、本證券面記載ノ運送品ニ關シ種類、内容、中品狀態、品質、数量、重量、容積、荷印、關荷印、番號及價額ヲ付其貨任セス。

第二條 運營會ハ左ニ掲タル事由ニ因リ生シタル運送品ノ滅失、毀損、延滞其他ノ損害ニ付其貨ニ任セス。

一、天災其他ノ不可抗力、火災、海難、盜難、其他一切ノ海上事故又ハ撫疫其他法律命令規則等ノ執行。

二、戰爭、樂園、事變其他のニ準スルキ事由。

三、軍事、官ノ命令若ハ要求ニヨル軍需品ノ運載。

四、船體、機器、器具ハ荷役用具ニ活用セラル時、船員ノ過失、陸貝、其他運送ノ爲ニ使用屬者ノ過失又ハ同盟競業。

五、運送品ノ性質又ハ瑕疵。

六、荷造不完全、包裝ノ破損、荷印、荷札ノ不備其他荷送人ノ過失怠慢。

七、蟲害、鼠害、汎氣、熱氣、濕氣、臭氣、運風ノ不完全、鉗穴又ハ他物トノ接觸其他の船内ニ於チ發生シ易キ事故。

八、上甲板積ニ因ル一切ノ事故（但特約アル場合ヲ除ク）。

九、荷役中ノ降雨水又ハ波浪。

十、通常保険附スル事由得ヘキ危険。

十一、通常保険附スル事由。

十二、通常保険附スル事由。

第三條 連絡運輸契約ヲ爲シタル場合合ノ外輸送船接舷込前又ハ揚荷後ニ於ケル危險及費用ハ總チ荷送人、荷受人並ニ荷主ノ負擔トシ運營會ノ責任ハ常ニ輸送船側ニ於テ開始又ハ終了トス。

運送品積込前又ハ揚荷後ニ於ケル保管、受渡、其他の取扱ヲ付チハ當該取扱人所定ノ條件ニ依ル但右取扱人ハ本運送契約ヲ後用スルコトヲ得。

第四條 荷メ運送品ノ種類、品名及價額ヲ告シシニ相當シル運賃ヲ支拂ヒ且マテ本證券面ニ記載シタルニ非サレハ運營會ハ商ニ付金五拾圓又ハ其割合ヲ超越スル損害賃ヲ付其貨ニ責メ。任セス。

前二項ノ例似アルモノハ前第一項ノ手續ニ依リタルニ非サレハ運營會ハ如何ナ運營會ハ如何ナル場合ト雖モ荷送人ノ明告ノ且本證券面ニ記載シタル價額又ハ其割合ヲ超過スル損害賃ヲ付其貨ニ責メ。任セス。

第五條 白金、金銀、貴金屬、貨幣、銀行券、軍票、有價證券、印紙、實石、美術品、骨董品、精巧小物、荷送其高價品、又ハ荷受人若ハ荷主ニ對シテ特殊ノ價值アル物品ニ付チハ前第一項ノ手續ニ依リタルニ非サレハ運營會ハ如何ナル損害賃ヲ付其貨ニ責メ。任セス。

第六條 輸送船ノ生命、財產若ハ船員ノ救助、避難、必要品ノ積込、荷役、航便物ノ任意トス。

第七條 第二條第一號乃至第四號及前條ニ掲タル事由又ハ其後アルニ因リ航速緩慢、入港、揚荷、荷渡ヲ不能、危險若ハ不利用メタルトキ又ハ荷役運送ノ度アリト認メタルキハ運營會ハ積荷又ハ航海開始ノ前後ニ拘らず本運送契約ヲ解除シ、航路ヲ變更シ又ハ航路外出シトアルベシ。

第八條 損害、發火、引火、病氣、腐敗、有毒、危險又ハ其他の原因ノ滅失、毀損、延滞其他ノ損害ニ付託。

第九條 第二條第一號乃至第四號及前條ニ掲タル事由又ハ其後アルニ因リ航速緩慢、入港、揚荷、荷渡ヲ不能、危險若ハ不利用メタルトキ又ハ荷役運送ノ度アリト認メタルキハ運營會ハ積荷又ハ航海ノ途中ニ於テ若ハ船舶ノ復航其他便宜ノ時ニ於テ最密運送其他運送品ノ荷役又ハ船員ハアルニ准スル。

第十條 運營會ハ前二項ノ場合因リテ生シタル運送品ノ滅失、毀損、延滞其他ノ損害ニ付託。

第十一條 陸揚港ニ於テ輸送船碇泊期間中ニ發見又ハ揚荷スルコトヲ得サリシ運送品ハ其發見セラレ又ハ揚荷シタルニ至リタルトキハ直ちニ運營會ノ費用ニ於テ之ヲ陸揚港ニ運送スベシ但シ運營會ノ費用ニ歸スル事由ニ因ル場合積荷取人並ニ荷主ノ負擔ス。

第十二條 運營會ハ前二項ノ場合因リテ生シタル運送品ノ滅失、毀損、延滞其他ノ損害ニ付託。

第十三條 運營會ハ特約アル場合除ク外船積ノ當時ニ於ケル運送品ノ重量、容積又ハ價額依リ之ヲ定ム、但運營會ニ於テ必要アリト認タルトキハ引渡ノ際更ニ重量、容積又ハ容積ヲ計り若ハ評價ヲ爲シニ依リテ運送品ヲ追徴スルコトアルヘン。

第十四條 運營會ハ運送付チハ連絡運輸契約ニ據ル場合及特約アル場合ヲ除キ運送管及運營會所屬接続船ノ運送間ニ限り其責ニ任セス。

第十五條 運營會ハ第五條第一項及第四項並ニ運營會別ニ當該運送品ニ對スル相應貿易ノ倍額諸手續ヘシ。

第十六條 運營會ニ於テ所屬セサル船體、經舟、鐵其他ノ機器、依ル接続、運送保管、荷渡等ノ取扱テ其自所定條件ニ依ル但當該機關ハ本運送契約ヲ採用スルコトヲ得。

第十七條 運營會ハ第五條第一項及第四項並ニ運送管ノ接続方法及運送方法ニ於テ接続地ニ於ケル運送付チハ揚荷及保管ハ水上、陸上何レニ於テ之ヲ爲スモ運營會ノ責任。

第十八條 運營會ハ第五條第一項及第四項並ニ運送管ノ接続方法及運送方法ニ於テ接続地ニ於ケル運送付チハ揚荷及保管ハ水上、陸上何レニ於テ之ヲ爲スモ運營會ノ責任。

第十九條 運營會ハ第五條第一項及第四項並ニ運送管ノ接続方法及運送方法ニ於テ接続地ニ於ケル運送付チハ揚荷及保管ハ水上、陸上何レニ於テ之ヲ爲スモ運營會ノ責任。

第二十條 運營會ハ第五條第一項及第四項並ニ運送管ノ接続方法及運送方法ニ於テ接続地ニ於ケル運送付チハ揚荷及保管ハ水上、陸上何レニ於テ之ヲ爲スモ運營會ノ責任。

第二十一條 運營會ハ第五條第一項及第四項並ニ運送管ノ接続方法及運送方法ニ於テ接続地ニ於ケル運送付チハ揚荷及保管ハ水上、陸上何レニ於テ之ヲ爲スモ運營會ノ責任。

第二十二條 運營會ハ第五條第一項及第四項並ニ運送管ノ接続方法及運送方法ニ於テ接続地ニ於ケル運送付チハ揚荷及保管ハ水上、陸上何レニ於テ之ヲ爲スモ運營會ノ責任。

第二十三條 運營會ハ第五條第一項及第四項並ニ運送管ノ接続方法及運送方法ニ於テ接続地ニ於ケル運送付チハ揚荷及保管ハ水上、陸上何レニ於テ之ヲ爲スモ運營會ノ責任。

第二十四條 運營會ハ第五條第一項及第四項並ニ運送管ノ接続方法及運送方法ニ於テ接続地ニ於ケル運送付チハ揚荷及保管ハ水上、陸上何レニ於テ之ヲ爲スモ運營會ノ責任。

第二十五條 運營會ハ第五條第一項及第四項並ニ運送管ノ接続方法及運送方法ニ於テ接続地ニ於ケル運送付チハ揚荷及保管ハ水上、陸上何レニ於テ之ヲ爲スモ運營會ノ責任。

第二十六條 運營會ハ第五條第一項及第四項並ニ運送管ノ接続方法及運送方法ニ於テ接続地ニ於ケル運送付チハ揚荷及保管ハ水上、陸上何レニ於テ之ヲ爲スモ運營會ノ責任。

表記ノ荷物正ニ受取候也

昭和 年 月 日

荷物受取人

DETAILES OF EXPORT GOODS.
輸出貨物明細書

Name of Vessel
積載船名

Destination
仕向地

Place of Production
出荷地

Consignees Address and Name
荷受人ノ住所氏名

Name of Articles
貨物ノ名稱

Invoice No.
送狀番號

Order or Contract No.
註文書又ハ
契約者ノ番號

Total Packages
總個數

Marks and Nos. 記號番號	Packages 個數	NAME OF ARTICLES 品名	QUANTITY 數量	@ 單價	Total Value 總價額
日本 在河内 特派 大使府 情報部 三	壹個	雜誌 “日本語”	150	30	3000

Shippers
Address and Name
荷主住所氏名



大東亞省南方事務局長

第六二號 貨物海上保險證券

五海運社

輸		送		用		具		保		險		目		的	
船舶名	船種	船舶名	船種	接續	船舶	接續	船舶	發航日	昭和年月日	積出地	自	航	積出地	神戸至	航
五八	國籍			/		/		日	本	神戸	船積港	自	西貢	陸揚港	西貢

A/D 印刷物(蓮包)

壹ヶ也

戰爭保險擔保

雨露入港難不着危險保

保 險 金 額	保 險 金 額	保 險 金 額	保 險 金 額	範 圍		補 充		海	
				用 ノ 其 ノ 輸 送 他	陸 揚	將 舟	將 舟	船 舶	
六拾圓	六拾圓	六拾圓	六拾圓						

特約ノ通り

一時拂ヒ

神戸市

保 險 金 額	保 險 金 額	保 險 金 額	保 險 金 額	保 險 金 額
金壹百圓ニ付金	金壹百圓ニ付金	金壹百圓ニ付金	金壹百圓ニ付金	金壹百圓ニ付金

當會社ハ前記保險ノ目的ニ付昭和拾九年五月日本保險證券記載ノ條項ニ依リ保險契約ヲ締結シタルコト確實ナリ仍テ當會社ノ負擔スベキ損害發生シタルトキハ被保險者

對シ無相違保險金ノ支拂ヲ爲スベシ

貴殿又ハ其ノ指圖人ニ

昭和拾九年參月六日神戸市ニ於テ作成ス

神戸市神戸區明石町十九番地

神戸海上火災保險株式會社

保險契約者

原鐵運送株式會社

殿



倉庫ヨリ倉庫ニ至ル危険擔保特別約款

當會社ノ責任ハ被保險貨物カ運送ノ目的ヲ以テ本證券記載ノ被出地ニ於ケル貯蔵其ノ
他ノ保管場所ヨリ搬出セラシタル時ヲ以テ始まり通常ノ運送過程（慣習上行ハル積
替ヲ含ム）ヲ經テ本證券記載ノ仕向地ニ於テ荷受人ノ倉庫又ハ其ノ指定シタル倉庫其ノ
他ノ保管場所ニ搬入セラシタル時ヲ以テ終ハル但シ本船積込前ノ危險擔保期間ハ責
任開始ノ日ノ午後十二時ヨリ起算シ十五日間ヲ以テ限度トシ本船荷卸後ノ危險擔保期間ハ責
任開始ノ日ノ午後十二時ヨリ起算シ十五日間（仕向地力本船荷卸港域外ナルトキハ三十日間）ヲ以テ限度トス

盜難又不着危險擔保特別約款

第一條 當會社ハ本證券記載ノ保険ノ目的ニ付益難又ハ各荷造每ノ不着ニ因リテ生ジタル損害ニシテ運送人、

ル責ニ任ズ

第二條 損害發生ヲ知リタルトキハ被保險者ハ遅滯ナク運送人、

前項ニ違反シタルトキハ當會社ハ損害ヲ填補スル責ニ任ゼズ

第三回 並木の抱病と生みのハ根合被保險者ハ詫危険
代理店ニ對シ損害検査立會ノ伸出ヲナスベキモソトス

前項ニ過度シタルトキハ當會社ハ損害ヲ填補スル責ニ任せズ
第四條 本約款ハ如何ナル場合ニ於テモ運送人、運送受取人其

メニ之ヲ利用スルコトヲ得ズ

條ニヨリ填補スベキ金額ヲ假拂スルコトアルベシ、但シ被保險者ハ引續キ當會社ノ指示ニ從ヒ求償ヲ繼續シ且回収金アリタルトキハ當會社ノ取得スベキ部分ヲ返還スルコトヲ要ス



貨物戦争保険特別約款追加條項

甲、輸出積荷ノ「本船荷卸後ノ戦争保険」ニ對スルモノ

西英一九

第一條

船積港ガ日本(南洋群島ヲ含ミ)關東州ヲ除ク以下同シ)ノ港ニシテ荷卸港ガ關外州、滿洲國、中華民國(香港及澳門ヲ含ム以下同)佛領印度支那又ハ泰國ナル場合ハ當會社ハ貨物戦争保険特別約款第五條第二項ノ規定ニ拘ラズ荷卸港ニ於ケル保険ノ目的ヲ本船ヨリ荷卸シタル時ヨリ止向地ニ於ケル最終着港ニ搬入。タル時迄ノ間ニ付特別約款第五條ノ危険擔保ノ責ニ任ズ但シ荷卸後十五日(仕向地ガ荷卸港地域外ナルトキハ三十日トス)ヲ經過シタルトキハ以後ノ期間ヲ除外

前項ノ場合ニ於テ特別約款第五條第二項但書ニ依リ危険擔保ノ責ニ任ズアル期間ニ付保険契約者又ハ被保險者ガ運帶ナク擔保期間ノ延長ヲ求メタル場合ニ限り當會社ハ相當ナル割増保険料ヲ徵シ危険擔保ノ責ニ任ズアルコトアルベシ

船積港ガ日本ノ港ニシテ荷卸港ガ佛領印度支那又ハ泰國ノ港ナル場合ニ於テハ當會社ハ前條第一項但書ニ依リ危險擔保ノ責ニ任ズアル期間ニ付其ノ期間ノ開始前ニ保険契約者又ハ被保險者が擔保期間ノ延長ヲ求メタル場合ニ限り相當ナル割増保険料ヲ徵シ危険擔保ノ責ニ任ズアルコトアルベシ但シ如何ナル場合ト雖ニ右延长期間ハ前條第一項但書所定ノ期間終了後三十日間ヲ以テ限度トス

乙、輸入積荷ノ「本船積込前ノ戦争危険」ニ對スルモノ

第三條

荷卸港ガ日本ノ港ニシテ船積港ガ關外州、滿洲國、中華民國、佛領印度支那又ハ泰國ナル場合ハ當會社ハ特別約款第五條第一號ノ規定ニ拘ラズ積出地ニ於ケル倉庫或ノ他ノ保管場所ヨリ保険ノ目的ヲ搬出シタル時ヨリ本船ニ積込。タル時迄ノ期間ニ付特別約款第五條ノ危険擔保ノ責ニ任ズ但シ本條ニヨル當會社責任開始ノ日ヨリ十五日ヲ超過シタルトキハ以後ノ期間ヲ除外

前條但書ニ依リ危険擔保ノ責ニ任ズアル期間ニ付當會社ハ保険契約者又ハ被保險者が本追加條項ノ保険申込ト同時ニ擔保期間ノ延長ヲ求メタル場合ニ限り相当ナル割増保険料ヲ徵シ危険擔保ノ責ニ任ズアルコトアルベシ但シ如何ナル場合ト雖ニ右延长期間ハ前條第一項但書所定ノ期間終了後三十日間ヲ以テ限度トス

貨物戦争保険特別約款ノ全部又ハ一部ノ中本追加條項ト抵觸スルモノアルトキハ其ノ抵觸シタル部分ニ付テハ本追加條項ニ依ル當會社ノ責任ニ關スル限り之ヲ無効トス

貨物戦争保険特別約款

第一條 常會社ハ本保険證券記載ノ填補ノ種類並ニ貨物海上保険普通保険約款及特約ニ依ル免責額ノ規定ニ拘ラズ保険ノ目的ニ付貨物海上保険普通保険約款第一號乃至第四號ニ依リ除外セラレタル危険ニ因リテ生ジタル損害ヲ填補スル責ニ任ズ

第二條 帝國又ヘ其ノ同盟國ノ捕獲、拿捕、強留又ヘ抑止

第三條 航運又ヘ因ル運送ノ中斷

第四條 常會社ハ被保險者又ヘ保険金ヲ受取ルベキ者ガ左ニ該當スルトキハ損害填補ノ責ニ任ゼズ但シ當會社ノ書面ニ依ル承認ヲ得タルモキ

第五條 敵國ノ占領地ヲ除ク又ヘ敵國ノ占領地ニ居住スル個人又ヘ法人

第六條 被保險者又ヘ保険金ヲ受取ルベキ者ガ保険期間中前項各號ニ該當スルニ至リタルトキハ爾後生ズルコトアルベキ損害ニ付亦前項ニ同ジ

第七條 本船ノ保険ノ目的ヲ搭載スル船舶ニシテ駆舟、帆船、汽船、其ノ他ニ準ズルモノニ非ザルモノヲ謂フ以下同ジニ依リ保険ノ目的ヲ輸送スル區間が湖沼又ヘ河川ノミナルトキ但シ揚子江ニ付テハ岳州ヨリ下流(岳州ヲ含ム)ノ本流及上海ヨリ下流(上海ヲ含ム)ノ支流ニ付テハ

第八條 此ノ限ニ在ラズ保険ノ目的が外國(滿洲國ヲ除ク)ノ港又ヘ地相互通輸送ノモノナル場合ニ於テ本船ガ左ノ船舶ニ非ザルトキ

第九條 保険ノ目的が外國(滿洲國ヲ除ク)ノ港又ヘ地相互通輸送ノモノナル場合ニ於テ本船ガ左ノ船舶ニ非ザルトキ

第十條 ハロイ滿洲國船舶及帝國ノ金捕又ヘ押留シタル船舶ヲ含ム

第十一條 帝國臣民又ヘ帝國法人ガ借受ケ(期間賃船ヲ含ム)タル外國船舶

第十二條 船積港ニ於テ保険ノ目的ヲ搭載シタル船舶が前項第二號ニ掲タル外國船舶ナルトキハ積替後ノ接續本船ニ付テハ前項第二號ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十三條 常會社ハ左ニ掲タル期間ニ付貨物海上保険普通保険約款第四條第一號乃至第三號ノ危險擔保ノ責ニ任ゼズ

第十四條 船積港ニ於テ本船ニ積込前ノ期間但シ荷卸前ト雖モ本船ガ荷卸港ニ安全ニ碇泊シハ累留セラレタル日ヨリ十五日ヲ經過シタルトキ

第十五條 其ノ以後ノ期間但シ荷卸後ノ期間但シ荷卸前ト雖モ本船ガ荷卸港ニ安全ニ碇泊シハ累留セラレタル日ヨリ十五日ヲ經過シタルトキ

第十六條 船積港ニ於テ本船ガ安全ニ碇泊シハ累留セラレタル日ヨリ二十日ヲ經過シタルトキハ以後ノ期間ヲ除ク

第十七條 前項ノ延長ヲ求メタル場合は依リ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ當會社ハ其ノ期間ノ開始前ニ保険契約者又ヘ被保險者ガ擔保期間

第十八條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第十九條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第二十條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第二十一條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第二十二條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第二十三條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第二十四條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第二十五條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第二十六條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第二十七條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第二十八條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第二十九條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第三十條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第三十一條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第三十二條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第三十三條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第三十四條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第三十五條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第三十六條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第三十七條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第三十八條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第三十九條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第四十條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第四十一條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第四十二條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第四十三條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第四十四條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第四十五條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第四十六條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第四十七條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第四十八條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第四十九條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第五十條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第五十一條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第五十二條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第五十三條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第五十四條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第五十五條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第五十六條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第五十七條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

第五十八條 依リ當會社ガ危險擔保ノ責ニ任ゼル期間ニ付テハ常會社ノ責任開始

